

ベトナムで事業を運営するうえで、どのような「内部環境リスク」があるのでしょうか。

前回に引き続き、ベトナムへ進出した中小企業が実際に懸念しているリスクについて解説します。今回は、「内部環境リスク」について見てみましょう。

中小企業の多くは、まず、物流機能の脆弱さを挙げます。たとえば、ハノイのある日系企業では、市内の交通事情によって物流機能が停滞し、納品が遅延するリスクを常に懸

中小企業 海外展開のツボ

念しています。

ハノイは、ホーチミンに比べて道路の整備状況が悪くバイク人口が多いことから、交通渋滞や事故により物流が停滞しやすい傾向にあります。また、台風や集中豪雨といった災害時には、すぐに機能が止まってしまうことがあります。

次に、取引先との契約上のトラブルが挙げられます。現地取引先との

ベトナム 脆弱な物流機能

SOMPOリスクアマネジメント 執行役員 原 敬徳氏
ERM事業部長 首席コンサルタント

契約書の条項に明記されているものについて、必ずしも順守されるとは限りません。これは契約書に不備があるというよりも、取引先のモラルに関わる問題です。とくに多いのが、支払いに関する違反です。

そして、製造業においては、製品の品質管理が大きな課題の1つとなります。社外から調達する原材料の品質改善を図るとともに、自社の従

業員の意識を向上させる取り組みが急務となっています。

そのほか、横領・背任といった社内不正、従業員によるデモやストライキ、スマートフォンやパソコンからの営業情報の漏えいなども、最近のリスクとして挙げられます。

このように、ベトナムにおけるビジネス慣習をよく知ることが、進出を成功に導く第一歩です。

中小企業にとって想定される
ベトナムの主な内部環境リスク

主要業務に関するリスク

物流機能の脆弱性、契約の順守違反

調達品・製品・サービスの品質確保

工場の火災、電気・ガス・水道の停止など

組織運営に関するリスク

不正会計、デモ・ストライキ、情報漏えいなど

2017年6月7日
日経産業新聞